

施策評価シート

年度

3

1. 基本情報

まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち		
施策	活気のあるまちづくり		
基本施策	地域資源を活かした観光の振興		
取り組み事項	魅力発信により観光客を誘致する		
主管部局	市民生活部 地域振興課	関連部局	

めざす暮らしの姿

魅力発信による観光客の誘致

基本方針

市の無形民俗文化財である「相生ペーロン」と特産品の「相生かき」を観光の二本柱として、本市独自の観光に取り組みます。
また、万葉の岬、羅漢の里など市の景勝地やまちの魅力を再確認し、既存の観光資源に磨きをかけるとともに、新たな資源を発掘し、にぎわいの創出と交流を活性化していきます。

施策の方針

100年の歴史を持つ「相生ペーロン」の独自文化を観光に活用し交流を図ります。特に、教育型体験プログラムとして学校、企業の研修などに活用されている体験乗船を核とした市内観光ルートづくりなどを進めます。また、「相生かき」のブランド力と交通利便性を活かし、シーズンを通じて相生かきの産地での飲食、購買、宿泊などの観光につながる取り組みを推進します。さらに、JR相生駅前のあいおい情報ラウンジ及び道の駅・海の駅あいおい白龍城の情報発信力と快適性を高め、団体旅行にも対応した観光受入体制を確立するなど、顧客満足度と質の向上を図ります。

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			2,464	2,657	2,464	2,464
会計年度任用職員数			0,442	0,625	0,442	0,442
人件費計			17,344,496	21,241,137	19,496,677	19,496,677
事業費計			28,753,751	43,345,000	33,345,000	33,345,000
フルコスト			46,098,247	64,586,137	52,841,677	52,841,677

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金				0	0
	県支出金				0	0
	市債				0	0
	その他			1,041,253	10,908,000	908,000
一般財源1			45,056,994	53,678,137	51,933,677	51,933,677
一般財源2			27,712,498	32,437,000	32,437,000	32,437,000

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	観光入込数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	R元	R2	R3	R4	R5	R6
単年度目標値			690,000	690,000	690,000	690,000
単年度実績値			402,803			
単年度達成率	-	-	58.37%	-	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	観光入込数
前年度との比較	
所見	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント開催が中止となったため観光客数が大きく減少した。

構成事務事業の事後総合評価

事務事業名	事務事業担当者の評価	上位責任者の評価	総合評価
	担当者所見	方向性及び所見	
中学生ペーロン推進事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	B
	これまでの長い歴史の中で継承されてきたノウハウをベースに、より安全かつ円滑に進めていくことが求められる。令和3年度は行事自体は中止となったが、次回以降のより安全な開催に向け備品の購入など準備を行った。	相生ペーロンの伝統文化継承のためにも将来の担い手を育成する事業として継続して実施する。	
海洋訓練教室推進事業	C:改善・見直しの上で継続	C:改善・見直しの上で継続	C
	相生ペーロン海館を活用してペーロンと連携した活動を行うなど、海洋スポーツの普及のみならず、文化伝統の継承を視野に入れ、相生湾臨海部の活性化を図っていく。	B&G海洋クラブの活動とペーロンを融合する取り組みを検討し、実施する。	
観光協会推進事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	新型コロナウイルス感染拡大の影響により観光PRに制限に係る状況であったが、相生市の観光振興を推進する上では継続して観光協会の活動を支援していく必要がある。	相生市の観光振興を推進するため、継続して相生市観光協会と連携して実施していく。	
相生ペーロン祭事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	令和3年度は行事自体は中止となったが、新艇建造事業をはじめとする相生ペーロン伝来100周年記念事業を行った。ペーロン祭について、行事の中止により中止決定までの必要経費を支出するにとどまっている。新艇建造についてはスケジュールの遅れもなく、適切に事業が完了した。令和2年度に続いてペーロン祭が中止しており、事務局・協会ともに運営ノウハウの継承が心配される。	令和4年度で伝来100周年を迎えたが、101年目を以降も相生市の伝統文化である相生ペーロンを普及・推進していくためにも継続して実施する。	
羅漢の里もみじまつり事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	B
	地元自治会などの意見も参考に、実行委員会として行事の中止を決定した。行事の開催は瓜生をはじめとした地元の理解協力が不可欠であることからやむを得ない中止決定であった。その一方で行事開催への問い合わせも多かったことから、感染対策との両立が今後の課題である。他の祭りと同様、事務局内の運営ノウハウの継承が心配される。	相生市の山側の観光資源をPRする場として、地元と協力しながら継続して実施する。	
相生かきまつり事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	行事の中止に伴い、市内店舗とともに代替事業を実施した。また、相生駅を利用する方をターゲットとしたかきの通販窓口も多くの方に利用いただき、市外へのPRを実施できた。ただし、他の行事同様、事務局の運営ノウハウの継承が心配される。	相生市の最大の特産品である「相生かき」を広く全国的にPRするイベントとして、継続して実施する。	
相生ペーロン振興事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	B
	ペーロン関連行事の中止により、体験乗船は実施できなかったが、艇の管理など次年度以降への準備を行った。	相生ペーロンの将来の担い手育成の場として、また、体験型観光プログラムとして重要な観光資源であることから、継続して実施する。	
ペーロン海館管理事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	B
	相生ペーロンの更なる振興のため、体験乗船を核とした多様な活用方法を検討しながら継続していく。	相生ペーロンの普及、伝統文化継承の拠点施設として適切に運営していく必要がある。	
道の駅管理運営事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	道の駅は相生市の観光情報の発信拠点だけでなく、それ自体が観光スポットとして市の賑わいづくりに寄与していることから、適正に維持管理をしていき、魅力のある施設として維持していく必要がある。	相生市の観光情報の発信拠点であり、一番の観光スポットでもあることから、適切に運営していく必要がある。	

施策評価シート

年度

3

1. 基本情報

まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち		
施策	活気のあるまちづくり		
基本施策	地域資源を活かした観光の振興		
取り組み事項	広域観光を推進する		
主管部局	市民生活部 地域振興課	関連部局	

めざす暮らしの姿

広域観光の推進

基本方針

インバウンドへの対応を含め、観光客をもてなす体制づくりを進めます。

施策の方針

西播磨地域の交通拠点であるJR相生駅前のあいおい情報ラウンジやふるさと応援大使などの情報発信力を活用し、市内の宿泊施設や交通事業者と連携し、広域観光を推進します。

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.636	0.448	0.636	0.636
会計年度任用職員数			0.144	0.332	0.144	0.144
人件費計			4,519,032	3,913,416	5,076,234	5,076,234
事業費計			4,064,270	4,538,000	4,604,000	4,538,000
フルコスト			8,583,302	8,451,416	9,680,234	9,614,234

(2) 歳入

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源						
国庫支出金					0	0
県支出金					0	0
市債					0	0
その他			480,000	480,000	480,000	480,000
一般財源1			8,103,302	7,971,416	9,200,234	9,134,234
一般財源2			3,584,270	4,058,000	4,124,000	4,058,000

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	あいおい情報ラウンジ来館者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	R元	R2	R3	R4	R5	R6
単年度目標値			45,000	45,000	45,000	45,000
単年度実績値			26,271			
単年度達成率	-	-	58.38%	-	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	あいおい情報ラウンジ来館者数
前年度との比較	
所見	コロナ禍においてビジネス、観光で相生市を訪れる人が減り、また自粛要請等により外出件数も減少しているため、来館者数は少ない。

事務事業評価シート

年度

3

1. 基本情報

事業番号	040204010001	事務事業名	中学生ペーロン推進事業
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	活気のあるまちづくり
基本施策	地域資源を活かした観光の振興	取り組み事項	魅力発信により観光客を誘致する
部名	市民生活部	課名	地域振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	市内3中学校1年生によるペーロン体験乗船及びペーロン競漕を行う。		
対象	市内中学校1年生		
目的	相生の伝統文化である「ペーロン」を体験し、ふるさとを愛する心をはぐくむとともに、ペーロン文化の次世代の担い手を育成する。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令			

2. 事業費

(1) 歳出

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.02	0.02	0.02	0.02
会計年度任用職員数			0.004	0.004	0.004	0.004
人件費計			141,363	158,855	158,855	158,855
事業費計			344,082	600,000	600,000	600,000
フルコスト			485,445	758,855	758,855	758,855

(2) 歳入

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金		0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0
	市債		0	0	0	0
	その他		0	0	0	0
フルコストー特定財源			485,445	758,855	758,855	758,855
事業費計ー特定財源			344,082	600,000	600,000	600,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質】参加学校数					
単位	校					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			3	3	3	3
単年度実績値			0	0	0	0
前年比	-	-	-	-	-	-
単年度達成率	-	-	-	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1	参加1校辺りフルコスト					
単位	円/校					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			161,815	252,951.6667	252,951.6667	252,951.6667
単年度実績値						

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	ペーロンを通じて、学級運営において必要な団結力やチームワークを身につけ、ペーロン文化を継承する機会として妥当である。次回以降の開催のため、備品の購入などを行ったが、より安全かつ充実した内容での実施を目的としており妥当である。	なし
有効性	B: 比較的有効である	相生市の文化であるペーロンを体験し、学びの機会を提供する場として有効である。また将来のペーロンの担い手育成の場としても有効である。	なし
効率性	C: 効率性が低い	例年平日に開催しており、ボランティア指導員の召集に苦労を要している。	あり
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	経験豊富なボランティア指導員が長年携わっており、実施方法等の面において安全かつ効率的に運営できており、今後はその運営ノウハウを継承することが課題とされる。	あり
透明性	C: 透明性が低い	参加者が限定される(中学1年生のみ)行事であり、広く市民が参加するものではないことから、透明性は低い。	あり

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	これまでの長い歴史の中で継承されてきたノウハウをベースに、より安全かつ円滑に進めていくことが求められる。令和3年度は行事自体は中止となったが、次回以降のより安全な開催に向け備品の購入など準備を行った。
休止・廃止となったときの影響	相生市の財産であるペーロンに触れる機会がなくなることから、将来のペーロン文化の担い手育成の場を失うこととなる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	相生ペーロンの伝統文化継承のためにも将来の担い手を育成する事業として継続して実施する。

事務事業評価シート

年度

3

1. 基本情報

事業番号	040204010002	事務事業名	海洋訓練教室推進事業
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	活気のあるまちづくり
基本施策	地域資源を活かした観光の振興	取り組み事項	魅力発信により観光客を誘致する
部名	市民生活部	課名	地域振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	子どもに対して海洋スポーツを普及・促進するため、B&Gあいおい海洋クラブに事業委託を行う。また、活動の拠点である海の環境交流ハウスの維持管理を行う。		
対象	市内の子ども		
目的	自然に恵まれた相生湾の環境を活かして、ヨット・ボート・カヌーなど海洋スポーツの普及・啓発に努める。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市立海の環境交流ハウスの設置及び管理に関する条例、相生市立海の環境交流ハウスの設置及び管理に関する条例施行規則		

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.028	0.028	0.028	0.028
会計年度任用職員数			0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計			190,023	214,196	214,196	214,196
事業費計			663,763	713,000	713,000	713,000
フルコスト			853,786	927,196	927,196	927,196

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源						
国庫支出金			0	0	0	0
県支出金			0	0	0	0
市債			0	0	0	0
その他			0	1,000	1,000	1,000
フルコストー特定財源			853,786	926,196	926,196	926,196
事業費計ー特定財源			663,763	712,000	712,000	712,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質】行事参加延べ人数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			550	550	550	550
単年度実績値			44	0	0	0
前年比	-	-	-	-	-	-
単年度達成率	-	-	8%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1	行事参加延べ人数辺りフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			1,552.3382	1,685.8109	1,685.8109	1,685.8109
単年度実績値			19,404.2273			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	コロナ禍において活動は制限されているが、クラブ会員に対して、相生湾特有の穏やかな環境において海洋訓練を実施することで、海洋スポーツの普及、推進が図れている。	なし
有効性	C: 有効性が低い	新型コロナウイルスの影響もあり、行事参加者数、会員数ともに減少しており、海の環境学習やペーロン体験など、会員以外の子どもが参加できるような行事展開を考える必要がある。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	海洋スポーツの普及、推進を図る上では、B&Gあいおい海洋クラブへ事業を委託することは妥当である。	なし
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	会員数が減少傾向にある中、施設の利用も含めてより幅広い市民を対象とした事業を行っていく必要がある。また、代表指導者の退会により、B&Gあいおい海洋クラブの活動体制や活動内容について見直しを検討する必要がある。	あり
透明性	C: 透明性が低い	活動内容が会員等一部に限定されている状況であるので、相生ペーロン海館を活用した活動などペーロンと連携した事業を行い、広く市民に対して活動について周知する必要がある。	あり

(2) 総合評価

総合評価
C

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	相生ペーロン海館を活用してペーロンと連携した活動を行うなど、海洋スポーツの普及のみならず、文化伝統の継承を視野に入れ、相生湾臨海部の活性化を図っていく。
休止・廃止となったときの影響	自然に恵まれた相生湾の環境を活かした海洋スポーツの普及、推進が困難となる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	B&G海洋クラブの活動とペーロンを融合する取り組みを検討し、実施する。

事務事業評価シート

年度

3

1. 基本情報

事業番号	040204010003	事務事業名	観光協会推進事業
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	活気のあるまちづくり
基本施策	地域資源を活かした観光の振興	取り組み事項	魅力発信により観光客を誘致する
部名	市民生活部	課名	地域振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	相生市観光協会が実施する各種観光振興事業への補助金及び相生みなどの女王の選考及び活動に関する補助金を支出する。		
対象	市民、観光客		
目的	観光協会への補助を通じて、相生市の観光の振興とPR活動を推進していく。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令			

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.3	0.296	0.3	0.3
会計年度任用職員数			0.088	0.092	0.088	0.088
人件費計			2,159,889	2,399,113	2,423,854	2,423,854
事業費計			3,280,000	2,950,000	2,950,000	2,950,000
フルコスト			5,439,889	5,349,113	5,373,854	5,373,854

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源						
国庫支出金			0	0	0	0
県支出金			0	0	0	0
市債			0	0	0	0
その他			0	0	0	0
フルコストー特定財源			5,439,889	5,349,113	5,373,854	5,373,854
事業費計ー特定財源			3,280,000	2,950,000	2,950,000	2,950,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質】観光入込数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			690,000	690,000	690,000	690,000
単年度実績値			402,803	0	0	0
前年比	-	-	-	-	-	-
単年度達成率	-	-	58.37%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1	観光入込数1人辺りフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			7.8839	7.7523	7.7882	7.7882
単年度実績値			13.5051			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	観光資源の少ない当市において、市の観光資源の発掘・PRを行う観光振興事業はまちの活性化のためにも必要である。	なし
有効性	B: 比較的有効である	新型コロナウイルス感染症の影響により、相生ペーロン祭を始めとする各種イベントが中止となったため、観光入込数は減少しているが、コロナ禍における各種キャンペーンの実施により観光振興に取り組んでいる。	なし
効率性	B: 比較的効率的である	観光協会の会員は市内の様々な事業者で構成されており、観光振興を推進していく上では当協会と一体となって取り組むことが最適である。	なし
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	コロナ禍においてはイベントの実施が困難であり、オンラインでのイベント開催など市の活性化に繋がる手法を検討する必要がある。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	観光協会のHPやInstagramなどSNSを活用して情報発信に努めている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	新型コロナウイルス感染拡大の影響により観光PRに制限が係る状況であったが、相生市の観光振興を推進する上では継続して観光協会の活動を支援していく必要がある。
休止・廃止となったときの影響	相生市の魅力のPR不足により、市外からの観光客が減少し、まちの活気が衰退していく。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	相生市の観光振興を推進するため、継続して相生市観光協会と連携して実施していく。

事務事業評価シート

年度

3

1. 基本情報

事業番号	040204010005	事務事業名	相生ペーロン祭事業
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	活気のあるまちづくり
基本施策	地域資源を活かした観光の振興	取り組み事項	魅力発信により観光客を誘致する
部名	市民生活部	課名	地域振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	相生市最大のイベントである相生ペーロン祭を例年5月に開催する。		
対象	市民・観光客		
目的	集客によって観光の振興を図るとともに、ペーロンを通じた地域の活性化を促進する。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	観・交・商連携型地域活性化事業計画		
根拠法令			

2. 事業費

(1) 歳出

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.752	0.993	0.752	0.752
会計年度任用職員数			0.09	0.18	0.09	0.09
人件費計			5,230,229	7,859,968	5,884,527	5,884,527
事業費計			13,680,795	24,550,000	14,550,000	14,550,000
フルコスト			18,911,024	32,409,968	20,434,527	20,434,527

(2) 歳入

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源						
国庫支出金			0	0	0	0
県支出金			0	0	0	0
市債			0	0	0	0
その他			624,000	10,000,000	0	0
フルコストー特定財源			18,287,024	22,409,968	20,434,527	20,434,527
事業費計ー特定財源			13,056,795	14,550,000	14,550,000	14,550,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	海上の部参加チーム数					
単位	チーム					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			65	65	65	65
単年度実績値			39	0	0	0
前年比	-	-	-	-	-	-
単年度達成率	-	-	60%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1	海上の部参加1チーム辺りフルコスト					
単位						
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			290,938.8308	498,614.8923	314,377.3385	314,377.3385
単年度実績値			484,898.0513			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	ペーロン祭自体は中止となったが、中止を決定するまでの必要経費を支出した。平常時であれば多くの市民が参加するとともに、市外から多くの観光客が訪れることから事業の妥当性は高い。	なし
有効性	A: 有効性が高い	100周年記念事業として新艇を建造した。荷下ろし作業などに協会メンバーが参加するなど新艇への愛着を育むことで、今後のペーロン文化継承に大きく寄与するものである。また、老朽化の進んでいた艇を新調したことで競漕の安全性も向上した。	なし
効率性	C: 効率性が低い	材料費高騰等の影響により、祭準備を業者発注した際の費用や備品購入のための費用が上がっており、コストの削減が難しい状況にある。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	感染対策と行事实施の両立が求められる中、延期や中止の判断・開催規模の決定などにおいて運営組織での迅速な対応が必要となる。	なし
透明性	B: 比較的透明性を確保している	行事の開催や中止の周知において、HPなどにより適切に情報提供を行っている。広く市民に周知する義務がある一方で、感染対策として市外からの来場者を抑制する必要もあり、バランスをとりながらの広報活動が求められる。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	令和3年度は行事自体は中止となったが、新艇建造事業をはじめとする相生ペーロン伝来100周年記念事業を行った。ペーロン祭について、行事の中止により中止決定までの必要経費を支出するにとどまっている。新艇建造についてはスケジュールの遅れもなく、適切に事業が完了した。令和2年度に続いてペーロン祭が中止しており、事務局・協会ともに運営ノウハウの継承が心配される。
休止・廃止となったときの影響	ペーロン祭の休止・廃止は相生のペーロン文化の存続に直結する。現に行事の中止により協会所属チームの活動も鈍化しており、チームの存続にも影響が及ぶ可能性がある。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	令和4年度で伝来100周年を迎えたが、101年目以降も相生市の伝統文化である相生ペーロンを普及・推進していくためにも継続して実施する。

事務事業評価シート

年度

3

1. 基本情報

事業番号	040204010006	事務事業名	羅漢の里もみじまつり事業		
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	活気のあるまちづくり		
基本施策	地域資源を活かした観光の振興	取り組み事項	魅力発信により観光客を誘致する		
部名	市民生活部	課名	地域振興課		
事業の開始		終了年度	なし		
実施の概要	11月第2日曜日に矢野町瓜生の自然を利用したイベントとして、市民参加型のかがしコンテストやステージイベント、各種バザーなどを実施する。				
対象	市民・観光客				
目的	市の北西山間部の観光資源である羅漢の里を活用したイベントを開催し、観光客を誘致することで観光の振興を図る。				
事務事業類型	ソフト事業				
関連計画	観・交・商連携型地域活性化事業計画				
根拠法令					

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.6	0.6	0.6	0.6
会計年度任用職員数			0.08	0.09	0.08	0.08
人件費計			4,184,590	4,721,746	4,707,100	4,707,100
事業費計			47,438	1,900,000	1,900,000	1,900,000
フルコスト			4,232,028	6,621,746	6,607,100	6,607,100

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金		0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0
	市債		0	0	0	0
	その他		0	0	0	0
フルコストー特定財源			4,232,028	6,621,746	6,607,100	6,607,100
事業費計ー特定財源			47,438	1,900,000	1,900,000	1,900,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	かがしコンテスト出展数					
単位	件					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			90	90	90	90
単年度実績値			0	0	0	0
前年比	-	-	-	-	-	-
単年度達成率	-	-	-	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1	出店1件辺りフルコスト					
単位	円/件					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			47,022.5333	73,574.9556	73,412.2222	73,412.2222
単年度実績値						

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	矢野町瓜生の自然を活かし、羅漢の里や感状山などをアピールする場として妥当である。行事は中止となり中止決定までの必要経費を支出した。	なし
有効性	B: 比較的有効である	実行委員会には地元自治会や地元の学校園のPTAも参加し、地域と一体となり行事を進行している。地域との連携や協力体制の構築に寄与しており友好である。この度の中止決定の際にも地元自治会と検討を続け、やむをえず中止決定に至っている。	なし
効率性	B: 比較的効率的である	事業コストの約50%を協賛金で賄っており、市内の主要な企業はすでに協賛企業としてご協力いただいている中、不況の影響もあり新たな協賛企業の開拓も難しい状況にある。現状以上のコスト削減は行事の実施に大きな影響を及ぼす可能性が高い。	あり
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	地元自治会においては今般のコロナの影響により遠方から一時的に多くの観光客が来ることに不安を感じている面もあり、コロナ禍において最適な実施方法を検討する必要がある。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	適宜HPや全戸配布などで情報提供を行っている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	地元自治会などの意見も参考に、実行委員会として行事の中止を決定した。行事の開催は瓜生をはじめとした地元の理解協力が不可欠であることからやむを得ない中止決定であった。その一方で行事開催への問合わせも多かったことから、感染対策との両立が今後の課題である。他の祭りと同様、事務局内の運営ノウハウの継承が心配される。
休止・廃止となったときの影響	羅漢の里や感状山など相生市の観光資源をアピールする場を失うこととなる。また、かがし作りが団体内でのコミュニケーションツールとなっていたり、設置後のかがしを見学に行くのが恒例行事になっている施設があったりと、市内各種団体と地域のふれあいの場がなくなるなど影響が生じることが予想される。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	相生市の山側の観光資源をPRする場として、地元と協力しながら継続して実施する。

事務事業評価シート

年度

3

1. 基本情報

事業番号	040204010007	事務事業名	相生かきまつり事業		
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	活気のあるまちづくり		
基本施策	地域資源を活かした観光の振興	取り組み事項	魅力発信により観光客を誘致する		
部名	市民生活部	課名	地域振興課		
事業の開始		終了年度	なし		
実施の概要	相生市の特産である牡蠣を全国にPRしていくため、焼きガキコーナーや各種バザー、ステージイベントを実施する。				
対象	市民・観光客				
目的	市の特産品である「相生かき」のブランド力を活かし、イベントを行うことで賑わいの場を創出するとともに、観光客を誘致し観光の振興を図る。				
事務事業類型	ソフト事業				
関連計画	観・交・商連携型地域活性化事業計画				
根拠法令					

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.372	0.372	0.372	0.372
会計年度任用職員数			0.1	0.105	0.1	0.1
人件費計			2,665,419	2,999,545	2,992,221	2,992,221
事業費計			629,590	666,000	666,000	666,000
フルコスト			3,295,009	3,665,545	3,658,221	3,658,221

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金		0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0
	市債		0	0	0	0
	その他		0	0	0	0
フルコストー特定財源			3,295,009	3,665,545	3,658,221	3,658,221
事業費計ー特定財源			629,590	666,000	666,000	666,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	相生かきめぐり参加店舗数					
単位	件					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			49	0	0	0
単年度実績値			43	0	0	0
前年比	-	-	-	-	-	-
単年度達成率	-	-	87.75%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1	参加店舗1件辺りフルコスト					
単位	円/件					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			67,245.0816			
単年度実績値			76,628.1163			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	相生市の特産品である相生かきのPRの場として打倒である。令和3年度は行事を中止としたため、代替事業として「相生かきめぐり」(かき料理取扱店舗での粗品配布)を行い、PR活動を行った。また、あいおい情報ラウンジにおいて特設通販窓口を開設した。	なし
有効性	B: 比較的有効である	祭りは中止となったものの、相生かきのPRとしてかきめぐりや通販窓口の開設は有効であった。	なし
効率性	B: 比較的効率的である	赤穂市や備前市など、かきを特産品とするJR赤穂線沿線の市町と情報共有しながら、行事の中止について適切に判断した。中止決定までの支出を最低限に抑え、代替事業を充実したものにできた。	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	これまで通りの開催方法で実施する際、「感染対策」と「飲食を楽しめる行事」という2つの要素を両立させる必要がある。会場内レイアウトや実施内容について検討が必要である。	あり
透明性	A: 透明性が高い	HPや全戸配布などを適宜情報公開を行った。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	行事の中止に伴い、市内店舗とともに代替事業を実施した。また、相生駅を利用する方をターゲットとしたかきの通販窓口も多くの方に利用いただき、市外へのPRを実施できた。ただし、他の行事同様、事務局の運営ノウハウの継承が心配される。
休止・廃止となったときの影響	相生市の特産品である相生かきのPRの場がなくなることから、市内産業への多大な影響が予想される。また、JR赤穂線沿線の市町と連携して行事を実施していることから、西播磨や岡山東部地域への影響も懸念される。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	相生市の最大の特産品である「相生かき」を広く全国的にPRするイベントとして、継続して実施する。

事務事業評価シート

年度

3

1. 基本情報

事業番号	040204010008	事務事業名	相生ペーロン振興事業
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	活気のあるまちづくり
基本施策	地域資源を活かした観光の振興	取り組み事項	魅力発信により観光客を誘致する
部名	市民生活部	課名	地域振興課
事業の開始	平成30年度	終了年度	なし
実施の概要	ペーロン文化の普及啓発と後継者育成のため、市内小学生を対象に、また、体験型観光プログラムとして、企業や市外学校等を対象に体験乗船会を実施する		
対象	市民・観光客		
目的	ペーロン文化の普及啓発のために市内小学生を対象とした体験乗船会を開催することで、将来の担い手を育成するとともに、体験乗船会を体験型観光プログラムの一環として実施することで観光の受入体制を充実させ、相生観光の質の向上を図る。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	観・交・商連携型地域活性化事業計画		
根拠法令			

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.16	0.12	0.16	0.16
会計年度任用職員数			0.04	0.11	0.04	0.04
人件費計			1,142,176	1,079,099	1,282,567	1,282,567
事業費計			550,000	650,000	650,000	650,000
フルコスト			1,692,176	1,729,099	1,932,567	1,932,567

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源						
国庫支出金			0	0	0	0
県支出金			0	0	0	0
市債			0	0	0	0
その他			0	0	0	0
フルコストー特定財源			1,692,176	1,729,099	1,932,567	1,932,567
事業費計ー特定財源			550,000	650,000	650,000	650,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【量】体験乗船参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			2,500	2,500	2,500	2,500
単年度実績値			0	0	0	0
前年比	-	-	-	-	-	-
単年度達成率	-	-	-	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1	参加者1人辺りフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			676.8704	691.6396	773.0268	773.0268
単年度実績値						

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当である	相生の文化であるペーロンを市内外の方(特に子ども)に経験してもらうことで、将来の担い手を育成する点で妥当である。令和3年度は体験乗船を実施せず、艇の管理や設備の充実化を行った。	なし
有効性	B:比較的有効である	新型コロナの影響で、屋外体験型のアクティビティーへの関心が高まっている。旅行会社などとも連携し、需要を確実に拾うことが、ペーロン文化の継承・存続にもつながる。	なし
効率性	C:効率性が低い	例年平日に開催する行事も多く、ボランティア指導員の召集に苦勞を要している。	あり
改革・改善プラン達成度	A:改革改善効果が高い	体験乗船実施海域の見直しなどにより参加者にとってはより充実した乗船会となるよう運用方法を見直した。	なし
透明性	A:透明性が高い	広く情報提供を行っており、市外からの問い合わせも増加している。	なし

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	ペーロン関連行事の中止により、体験乗船は実施できなかったが、艇の管理など次年度以降への準備を行った。
休止・廃止となったときの影響	体験乗船は相生ペーロンの将来の担い手育成に直結する。また市外へのペーロン文化のアピールの場となることから、休止・廃止によるペーロン振興への影響は非常に多大である。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	相生ペーロンの将来の担い手育成の場として、また、体験型観光プログラムとして重要な観光資源であることから、継続して実施する。

事務事業評価シート

年度

3

1. 基本情報

事業番号	040204010009	事務事業名	ペーロン海館管理事業
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	活気のあるまちづくり
基本施策	地域資源を活かした観光の振興	取り組み事項	魅力発信により観光客を誘致する
部名	市民生活部	課名	地域振興課
事業の開始	平成29年度	終了年度	なし
実施の概要	ペーロン艇の管理、ペーロンの練習・交流の場、体験乗船の実施、市民・観光客の見学施設などの利用を行う。		
対象	市民、観光客		
目的	相生ペーロンの振興のため、拠点施設として設置した相生ペーロン海館を適切に運営し、伝統文化の継承と交流を図る。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	観・交・商連携型地域活性化事業計画		
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市立相生ペーロン海館の設置及び管理に関する条例、相生市立相生ペーロン海館の設置及び管理に関する条例施行規則		

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.04	0.04	0.04	0.04
会計年度任用職員数			0.02	0.02	0.02	0.02
人件費計			299,626	335,288	335,288	335,288
事業費計			3,027,010	3,705,000	3,705,000	3,705,000
フルコスト			3,326,636	4,040,288	4,040,288	4,040,288

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源						
国庫支出金			0	0	0	0
県支出金			0	0	0	0
市債			0	0	0	0
その他			0	0	0	0
フルコストー特定財源			3,326,636	4,040,288	4,040,288	4,040,288
事業費計ー特定財源			3,027,010	3,705,000	3,705,000	3,705,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	市外観光客利用率					
単位	%					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			50	50	50	50
単年度実績値			49.4	0	0	0
前年比	-	-	-	-	-	-
単年度達成率	-	-	98.8%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1						
単位						
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			66,532.72	80,805.76	80,805.76	80,805.76
単年度実績値			67,340.8097			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	市の無形民俗文化財である「相生ペーロン」の振興と文化継承の促進、またペーロンを通じての交流の促進の拠点施設として適切に運営が来ている。	なし
有効性	C: 有効性が低い	例年はペーロン競漕の練習や体験乗船等の利用により多くの方に活用されているが、新型コロナウイルスの影響によるイベントの中止などにより施設見学等一般の来館者のみの利用となった。	なし
効率性	B: 比較的効率的である	管理については相生市観光協会に委託しており、同協会が雇用する相生ペーロンに精通し艇の管理や施設の設備操作を熟知している相生ペーロン協会員が実施することで効果的な運営が来ている。	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	体験乗船等での活用を活発にするため、受付、人の手配、体験乗船実施までの運営を相生ペーロン協会と市とでよりスムーズに実施出来るよう役割を明確にする。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	体験乗船については旅行会社等に周知することで、修学旅行や企業レクリエーションでの利用に繋げることが来ている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	相生ペーロンの更なる振興のため、体験乗船を核とした多様な活用方法を検討しながら継続していく。
休止・廃止となったときの影響	ペーロン艇の管理が出来なくなり、相生ペーロン祭の開催はもとより、相生ペーロンの普及、伝統文化継承に支障をきたす。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	相生ペーロンの普及、伝統文化継承の拠点施設として適切に運営していく必要がある。

事務事業評価シート

年度

3

1. 基本情報

事業番号	040204010010	事務事業名	道の駅管理運営事業		
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	活気のあるまちづくり		
基本施策	地域資源を活かした観光の振興	取り組み事項	魅力発信により観光客を誘致する		
部名	市民生活部	課名	地域振興課		
事業の開始		終了年度	なし		
実施の概要	道の駅あいおい白龍城の観光案内所、トイレ及び駐車場の管理運営を(株)あいおいアクアポリスに委託する。				
対象	市民、観光客				
目的	道の駅を適正に管理し、交流及び賑わいの場として市民及び観光客の利用を促すことで、市の活性化を図る。				
事務事業類型	ソフト事業				
関連計画	観・交・商連携型地域活性化事業計画				
根拠法令					

2. 事業費

(1) 歳出

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.032	0.032	0.032	0.032
会計年度任用職員数			0.02	0.02	0.02	0.02
人件費計			245,333	274,089	274,089	274,089
事業費計			5,061,913	6,315,000	6,315,000	6,315,000
フルコスト			5,307,246	6,589,089	6,589,089	6,589,089

(2) 歳入

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金		0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0
	市債		0	0	0	0
	その他			417,253	907,000	907,000
フルコストー特定財源			4,889,993	5,682,089	5,682,089	5,682,089
事業費計ー特定財源			4,644,660	5,408,000	5,408,000	5,408,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質】【量】道の駅利用者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			300,000	300,000	300,000	300,000
単年度実績値			226,264	0	0	0
前年比	-	-	-	-	-	-
単年度達成率	-	-	75.42%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1	利用者1人辺りフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			17.6908	21.9636	21.9636	21.9636
単年度実績値			23.456			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	道路利用者の休憩の場及び観光客への地域特産品の情報発信拠点として、市が道の駅の適正管理に関与することは妥当である。	なし
有効性	B: 比較的有効である	コロナ禍において市内全体として観光客が減少している中、道の駅への観光客は相生市全体の半数以上を占めており、当市においての有数の観光地点となっている。	なし
効率性	B: 比較的効率的である	維持管理に係る経費は据え置かれているが、施設の老朽化や機能改善のための経費が必要である。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	白龍城の管理者である(株)あいおいアクアポリスと連携し、利用者にとって利用しやすく魅力のある施設となるよう対策を講じていく。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	道の駅あいおい白龍城のホームページがリニューアルされ、より見やすくなった。また、観光案内所において、相生市のみならず近隣市町の観光パンフレットなどを設置し、市民や観光客にとって情報を収集しやすい環境を整えている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	道の駅は相生市の観光情報の発信拠点だけでなく、それ自体が観光スポットとして市の賑わいづくりに寄与していることから、適正に維持管理をしていき、魅力のある施設として維持していく必要がある。
休止・廃止となったときの影響	道の駅の維持管理が行き届かなくなり、利用者にとって快適な施設利用が出来なくなる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	相生市の観光情報の発信拠点であり、一番の観光スポットでもあることから、適切に運営していく必要がある。

事務事業評価シート

年度

3

1. 基本情報

事業番号	040204020001	事務事業名	相生市観・交・商連携型地域活性化事業
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	活気のあるまちづくり
基本施策	地域資源を活かした観光の振興	取り組み事項	広域観光を推進する
部名	市民生活部	課名	地域振興課
事業の開始	平成30年度	終了年度	なし
実施の概要	地域の交通拠点であるJR相生駅前の交通機能利用者(交流人口・市民)の利便・快適性を向上し適時の情報提供を行うことで、新たな商機を創出し地域の活性化につなげる。その拠点施設として設置した「あいおい情報ラウンジ」を活用した広域的な情報発信を行う。		
対象	市民、ビジネス・観光客、商業者		
目的	人口減に伴う市場縮小による市内商業、交通機能(事業者)等の存続危機に対応するため、「あいおい情報ラウンジ」を拠点として、観光と連携した交流人口(ビジネス・観光客等)の活用により産業と地域の活性化を図る。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	観・交・商連携型地域活性化事業計画		
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市立相生駅前総合情報発信施設の設置及び管理に関する条例、相生市立相生駅前総合情報発信施設の設置及び管理に関する条例施行規則		

2. 事業費

(1) 歳出

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.508	0.32	0.508	0.508
会計年度任用職員数			0.12	0.308	0.12	0.12
人件費計			3,616,556	2,899,080	4,061,898	4,061,898
事業費計			3,798,362	4,192,000	4,192,000	4,192,000
フルコスト			7,414,918	7,091,080	8,253,898	8,253,898

(2) 歳入

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源						
国庫支出金			0	0	0	0
県支出金			0	0	0	0
市債			0	0	0	0
その他			480,000	480,000	480,000	480,000
フルコストー特定財源			6,934,918	6,611,080	7,773,898	7,773,898
事業費計ー特定財源			3,318,362	3,712,000	3,712,000	3,712,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質】来館者					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			45,000	45,000	45,000	45,000
単年度実績値			26,271	0	0	0
前年比	-	-	-	-	-	-
単年度達成率	-	-	58.38%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1	来館者1人辺りフルコスト					
単位						
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			164.776	157.5796	183.42	183.42
単年度実績値			282.2473			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	交通拠点相生駅前設置した「あいおい情報ラウンジ」を起点として利用者に適時の情報提供を行い、市内での飲食、交通利用、宿泊、観光等に結び付けることは市の活性化を図るうえで妥当である。	なし
有効性	B: 比較的有效である	新型コロナウイルス感染症の影響による自粛要請等により、来館者数は減少し目標には到達していないが、感染防止対策を施しながら、来館者に対して適時必要な情報提供を行った。	なし
効率性	B: 比較的効率的である	施設の運営に関しては、相生市観光協会に観光案内所の管理運営を委託し、JRやバスなどの交通事業者についても施設内で業務を行うことで、3者の協力体制により、より効率的で幅広いニーズに対応した運営が出来ている。	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	コロナ禍において理化学研究所の施設見学等の実施が困難な中、オンライン施設見学において使用したPR用動画モニターをあいおい情報ラウンジに設置し公開することで、施設の情報を発信する取り組みを行った。	なし
透明性	A: 透明性が高い	市内の観光情報だけでなく西播磨圏域の総合情報発信施設として、近隣市町の観光パンフレットを設置するとともに、コロナ禍における各種支援情報についても情報提供を行った。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	駅前を拠点として市内全域の活性化を目指す上でも、観光・交通・商業の各関係機関と連携し継続していく必要がある。
休止・廃止となったときの影響	駅前での観光案内等の情報発信力が不足し、市内への誘客に繋げることができなくなる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	広域観光の推進においては、あいおい情報ラウンジを拠点施設として継続的に取り組んでいく必要がある。

事務事業評価シート

年度

3

1. 基本情報

事業番号	040204020002	事務事業名	ふるさと応援大使活用事業
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	活気のあるまちづくり
基本施策	地域資源を活かした観光の振興	取り組み事項	広域観光を推進する
部名	市民生活部	課名	地域振興課
事業の開始	平成27年度	終了年度	なし
実施の概要	ふるさと応援大使の日常の活動において機会を捉え、市の広報や特産品等のPRを行う。		
対象	市内外の人		
目的	ふるさと応援大使の情報発信力を活かし、相生市の魅力を広くPRすることにより観光の振興を図る。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	条例・規則・要綱		
	相生市ふるさと応援大使設置要綱		

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.128	0.128	0.128	0.128
会計年度任用職員数			0.024	0.024	0.024	0.024
人件費計			902,476	1,014,336	1,014,336	1,014,336
事業費計			265,908	346,000	412,000	346,000
フルコスト			1,168,384	1,360,336	1,426,336	1,360,336

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金		0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0
	市債		0	0	0	0
	その他		0	0	0	0
フルコストー特定財源			1,168,384	1,360,336	1,426,336	1,360,336
事業費計ー特定財源			265,908	346,000	412,000	346,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質】ふるさと応援大使活動回数					
単位	回					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			10	10	10	10
単年度実績値			7	0	0	0
前年比	-	-	-	-	-	-
単年度達成率	-	-	70%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1	活動1回辺りフルコスト					
単位						
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			116,838.4	136,033.6	142,633.6	136,033.6
単年度実績値			166,912			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	市内外の方に広く市のPRを行う手段として、発信力のある者を市のふるさと応援大使に任命し、発信していくことは妥当である。	なし
有効性	B: 比較的有効である	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等の開催が制限される中、ど根性大根ちゃんを活用したPRを行うこと一定の集客効果は得られている。	なし
効率性	C: 効率性が低い	現在ふるさと応援大使として実質的に活動しているのはど根性大根だいちちゃんのみであるため、他の大使においても活動できるような仕組み作りが必要である。	あり
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	より発信力のある者を任命し、積極的に活用していくことで市の魅力を発信していく必要がある。	あり
透明性	C: 透明性が低い	ふるさと応援大使の存在や活動内容など、広く周知していく必要がある。	あり

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	ふるさと応援大使の任命者の位置づけ、役割を整理した上で、より広く市内外に相生市をPR出来るような活用の方法を検討していく必要がある。
休止・廃止となったときの影響	特に市外の方に対して効果的に相生市の魅力をPRする手段が失われる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	広域的に情報を発信する有効な手段として、活用方法を検討した上で継続して実施する。